

みんなの想いを犠牲者、そして被災者・被災者の今へ

その日を  
私たちは  
忘れない

和光3・11を忘れない  
チャリティイベント&コンサート

2015

3.12

THU

3.14

SAT

和光市民文化センター サンアゼリア

主催:和光3・11を忘れない実行委員会 / 助成:公益財団法人 和光市文化振興公社

後援:和光市・和光市教育委員会・石巻文化協会・石巻合唱連盟・東京石中会

■ IVENT & CONCERT SCHEDULE ■

3月12日(木) ~ 14日(土) 9:00 ~ 17:00

■ 「漂流ふくしま」写真・詩・短歌展 — 展示ホール —

3・11前・直後、今の福島を切り取った、静かな怒りの写真と作品。

3月14日(土) 10:00 ~ 15:00

■ 「和光3・11つながりカフェ」 — 小ホール —

和光市社会福祉協議会和光市ボランティアセンター企画。和光市近隣に3・11で避難されている方々をお呼びして、「昭和の懐かし歌謡」合唱や宮城県亘理町「語り部」のお話。

昼食後は、福島「表現者」たちの対談。

成増団地に避難されている「コスモス会」、和光市の「みどりのそよ風児童合唱団」の素敵な合唱。

17:00 ~ 19:00

■ 「和光3・11を忘れない」チャリティコンサート — 大ホール —

石巻市民交響楽団、石巻市民有志合唱団とこのコンサートの趣旨に賛同くださった首都圏のオーケストラ・合唱団のボランティアの皆さんも加わり、「犠牲者追悼」「復興祈念」の大合唱演奏。

19:30 ~ 21:00

● 「参加者・避難者交流会」 — 小ホール —

14日イベント参加者と避難者の立食交流会。舞台での自己紹介。

ごあいさつ



樽松 三郎

和光3・11を忘れない実行委員会  
委員長

皆さま、本日はお忙しい中「和光3・11を忘れない」チャリティイベント&コンサートにお越しいただき誠にありがとうございます。早いもので、あの東北大震災からすでに4年がたちましたが、原発の後処理、地域の復興は遅々と進んでいないような気がします。このイベントは、被災地への支援はもちろんですが、この悲惨な災害を忘れることなく、今後の新しい街づくりを考えるきっかけを音楽などを通じて行おうというものです。少なくとも10年は続けていくつもりです。

今回は、被災地である石巻から交響楽団と合唱団を招聘し、和光市近郊のこのイベントの趣旨に共鳴していただいたオーケストラ、合唱団員も加わり、ベートーヴェンの交響曲第九番の終楽章をはじめ、石巻交響楽団が「犠牲者追悼」「復興祈念」で演奏してきた曲を披露します。そのほか被災地の今を撮影した写真展や避難者をお迎えし、「和光つながりカフェ」も開催いたします。

われわれ実行委員会では様々な形で被災地支援の活動を行う所存ですが、ご来場の皆様には、今後とも東日本大震災の支援活動にご協力いただけますことをお願いし、ご挨拶いたします。

3月12日(木) ~ 14日(土) 9:00 ~ 17:00

■ 「漂流ふくしま」写真・作品展 — 展示ホール —



3・11前と今の浪江町を切り取った、静かな怒りの写真、詩、短歌、そしてモニュメント



カメラマン:高木成幸さん

福島県浪江町出身のカメラマン。一眼レフを手に放射性物質に汚された浪江町を中心に、ふるさとを今を記録し続けている。



映画監督:佐藤武光さん

福島県立双葉高校時代は野球部。日大文学部哲学科から映画監督の今村昌平の助監督などを経て、3・11直後第1原発近くへ肉薄。2012年ドキュメンタリー映画「立入禁止区域双葉〜されど我が故郷」上映。現在、日本映画学校講師。



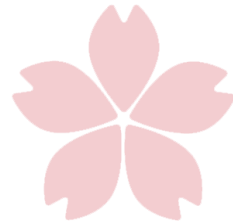
詩人:宮尾節子さん

高知県出身。1993年、投稿により第10回ラ・メール新人賞受賞。2007年に作った詩「明日戦争が始まる」を2014年1月にツイッターに投稿。リツイート(再投稿)が繰り返されてインターネット上で広く知られるようになり、「大竹まことゴールデンラジオ」で真鍋かおりに朗読されるなどし、7月、この詩の著作権を放棄した。また、3・11以後、「石巻ボランティア日詩」で、震災への想いを詩にしている。



歌人:三原由起子さん

福島県浪江町出身。2013年5月「ふるさとは赤」発刊。若手歌人の中で、NHK「短歌」番組などで作品が取り上げられ、同番組「3・11万葉集」で取材、今年冬、請戸海岸を防護服を着て歩く姿が使われる。



ホール入り口のロビー(ホワイエ)で【さくら募金】にご協力ください!

桜の花びらに被災者・避難者へのメッセージを書き、用意された桜の木にその花びらを貼付し、花開く桜の木を完成させます。貼付の際募金を賜れば幸いです。集められた募金は、被災者・避難者の支援のために使われます。

喫茶  
**ツートンジャック**  
和光郵便局隣  
和光市本町 12-29  
TEL 048(469)1306

和光バッティングセンター  
**和光バーディゴルフクラブ**  
営業時間(平日) 10:00~22:00  
(土日祭日) 8:00~22:00  
第2・第4水曜日定休日  
埼玉県和光市新倉 1-3-1  
048-464-3562  
URL <http://wako-birdiegolf.jimdo.com>

長崎市民に親しまれて86年、  
おいしいチャンポン・皿うどんを  
全国にお届けいたします

**Nagasaki Seimenjo**  
**長崎製麺所**

<http://nagaskiseimen.ocnk.net>  
〒850-0871  
長崎市麴屋町 6-25  
☎&FAX 095(822)1310

食品・水産の卸売  
**かいせい物産株式会社**  
〒東京都中央区豊海町 8-19  
TEL 03(3533)6121

3月14日(土) 10:00 ~ 15:00

■ 「和光3・11つながりカフェ」 — 小ホール —

和光市社会福祉協議会和光市ボランティアセンター企画。避難者をお呼びしての市民と集い。



- 10:00 ~ 10:30 開会式・表彰式 ~共生・共助・つながりづくり~「地域のつながり」作文コンクール入賞者  
10:30 ~ 11:00 「昭和の懐かし歌謡・童謡」 - 「311 有志」合奏団伴奏-  
11:00 ~ 12:00 「3・11の宮城県亘理町」 - 宮城県亘理町「震災語り部の会」  
12:00 ~ 13:00 休憩&交流会&茶話会  
13:00 ~ 13:30 「表現者たちのふくしま」  
・対談「写真と映画での表現」  
13:35 ~ 14:05 ・対談「短歌と詩での表現」  
14:05 ~ 14:25 合唱 「コスモス会」  
14:30 ~ 14:50 合唱 「みどりのそよ風児童合唱団」  
14:55 ~ 15:00 閉会式



「311 有志」合奏団

2011年宮城県亘理町への支援物資配布活動で知り合った首都圏ボランティアの有志が2012年に結成したシニア合奏団。ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・ピアノ、そしてバンドネオンの9名。2012年から今までに約40箇所の宮城県や福島県の仮設住宅や公民館などで、主に高齢者向けの「懐かしの昭和歌謡・童謡」の合唱伴奏や被災地の曲などと、タンゴ演奏をし、「涙と爆笑」で好評を博す。



宮城県亘理町「震災語り部の会ワッター」

仙台市から南に位置する亘理町。和光市社協では震災を機に立ちあがったボランティア団体「樹林ワンパク」を支援し、毎年5月、樹林公園で、亘理町の津波被害にあった荒浜小学校の支援活動を行い、つながりが深まっている。隣の福島県境の山元町とともにいちごの産地だった亘理町の海岸近くの畑は津波で壊滅。両方の町で、約6万人のうち、約1千名の方が津波の犠牲になりました。今回は、昨年の大船渡から引き続き、「亘理町」の語り部に、3・11当時の話を中心に聞く。



語り手：  
会長・菊池敏夫氏



「表現者たちのふくしま」(前ページの「写真・作品展」の4人の対談)

福島県浪江町出身のカメラマンと歌人、映画監督や被災地に想いを寄せる詩人が自分の写真や作品を見ながら、熱く語ります。

第1部 対談「写真と映画での表現」

写真家高木成幸さんと映画監督佐藤武光さんの対談

第2部 対談・朗読「短歌と詩での表現」

詩人宮尾節子さんと歌人三原由起子さんの対談



## コスモス会

東京都板橋区成増団地に避難されている方々で結成した合唱団。昨年3月の「和光3・11つながりカフェ」でも出演した。

### ♪コスモス会からのメッセージ♪

東京石中会東日本大震災で東北地方より避難し、ご縁があり和光市のすぐ隣の成増団地でお世話になっている私たちです。コスモス会の一員として、日頃より地域の皆様に支援していただいています。今日は、支援者の方々と共に精一杯頑張りますので、今の私たちを見ていただければ幸いです。



## みどりのそよ風児童合唱団

和光市ゆかりの童謡詩人清水かつらの作品を地元の子どもとともに練習・学習することにより、かつらの作品の伝承と啓蒙に努め、音楽の輪を広めることを目的として作られた児童合唱団。全国叱られて歌唱コンクール・アトラクション出演、市内行事への参加、福祉活動への参加、地域との交流を密にして、清水かつらを研究し、足跡をたどってハイキングも実施、また、「全国童謡・唱歌フェスタ」に参加し、ポニージャックス賞をいただき、全国に発信。今年で創立16年を迎える。



## お楽しみの昼食メニュー

### 【ほっき飯】

ほっき貝は代表的な冬の海の幸です。口の中に広がる海の甘味はまさに至福の味です。ほっき貝は栄養価も高く、鉄分、ミネラルが豊富に含まれています。今回は、和光市社協就労継続支援B型施設すまいる工場の調理師が心を込めて作りました。



### 【豚汁】

平成21年に発足し、和光市社協のひとり暮らし高齢者会食会を運営しているボランティアグループ「ゆめあい会食クラブ」です。心和む食事作りの会をモットーにしています。



### 【亘理町の物産品 一口ようかん いちご苑】

亘理町のいちごは東北一の生産量を誇り、「仙台いちご」の名称で出荷されています。その亘理のいちごを使ったようかんです。いちごの豊かな甘い香りと爽やかな甘さが嬉しい名品です。



## 物産品販売

### 【新座さいがいつながりカフェ】 - 手作り販売 -

お隣の新座に避難してきている方々です。月1回開催されるカフェの仲間が作った作品を展示します。



### 【渡和の会】 - 東北物産販売 -

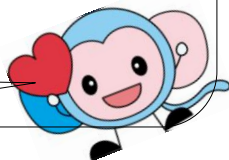
和光市社協主催の災害ボランティアバスパックに参加、共に汗をかいた仲間と、岩手県大船渡市への復興支援を願い発足しました。本日は東北物産品等を販売します。



### 【和光市社会福祉協議会】 - 啓発 -

市民と共に地域で支えあい、地域で安心して暮らせるよう、地域福祉の推進を図る民間の団体です。本日は、今までの取り組み等の情報をご紹介をさせていただきます。

僕は、「わしゅもん」です。よろしくね。



### 【樹林わんぱく】 - 活動紹介 -

宮城県亘理町立荒浜小学校を支援しています。今回の津波の語り部をお呼びしたきっかけにもなっています。



3月14日(土) 開場 16:30 開演 17:00(19:00 終演予定) — 大ホール —

— Program —

司会：池田郁子 柳原かをり 長岡立子

【第1部】祈り

□ フォーレ / 「レクイエム」ニ短調 作品 48

ソプラノ：渡邊かれん バリトン：瀬川 武

【第2部】思い出、希望

源田俊一郎 / 「ふるさとの四季」—混声・男声・女声・高校生・中学生の5声のスペシャル版—

□

小杉太一郎 / 「カンタータ大いなる故郷石巻」より 第4楽章 「祝 祭」

□

ベートーヴェン / 交響曲第9番 ニ短調 作品25 「合唱付」より 第4楽章 Presto

ソプラノ：西森由美 アルト：小島りち子

指 揮：佐々木克仁

管弦楽：石巻市民交響楽団&首都圏ボランティアスペシャルオーケストラ

合 唱：石巻市民有志合唱団&首都圏ボランティアスペシャル合唱団



指揮者

佐々木克仁

指揮者。宮城県石巻市出身。国立音楽大学教育音楽学科第1類卒業。大学在学中より、オペラの魅力に取り憑かれ、文化庁オペラ公演（オペラ・アーツ）などを初め、全国各地でオペラ「ラ・ボエーム」、「蝶々夫人」、「フィガロの結婚」、「カルメン」、「椿姫」等を指揮。その他、「メサイヤ」、「第九」等のオーケストラと合唱の指揮にも意欲的に取り組んでいる。また、長年アマチュア合唱団などの指導にもあたっている。故郷、宮城県では第56回国民体育大会『新世紀・みやぎ国体』開会式で100人編成の吹奏楽・合唱団を、石巻市民交響楽団創立30周年記念では、演奏会形式オペラ「カルメン」全4幕を指揮。東日本大震災から一年の2012年3月には故郷の石巻市民と共にフォーレの「レクイエム」を演奏し被災者に捧げる。その様子は読売新聞にて全国的に紹介される。2014年も、3月「犠牲者追悼」演奏会や、女川小での「廃校校歌合唱」などの石巻市民交響楽団を指揮する。その他にも合唱・吹奏楽・管弦楽の編曲等にも取り組んでいる。

♪3・11に想うこと…

今年で4回目を迎えた3.11。

たくさんの事件や災害のニュースに埋れ

少しずつ、人々の記憶から、故郷のあの惨事が風化していく、もどかしさ…。

しかし、本日ここに集まってくださった皆さん全員から、忘れるものか、また立ち上がってやる、というとても熱い想いを感じています。

先頭になってまとめて来られた主催者 協力者の皆様、出演者の皆様の熱い熱い想いが初顔合わせの時点から強く伝わってきた事が忘れられません。また本日まで来場の皆様。それぞれの皆様に心から感謝申し上げます。そんな今日の演奏会。客席のみならず、被災地の隅々まで、響きわたれ！

## 石巻市民交響楽団

宮城県最古、かつ、仙台市以外で唯一の市民オーケ。団員 30 名。

1976 年(昭和 51 年)6 月、団員 65 人で創設。以後、当初の年 1 回から、現在の年 2 回の定期演奏会を開催。2011 年 2 月、「市制合併 5 周年記念&市民会館ホール使い収め」コンサートでベートーヴェン交響曲第 9 番を演奏。その直後の 3・11 で、団員は全員無事だったものの、家族や家屋、楽器を津波で失い、仮設住宅での生活を余儀無くされている一部団員もいる。

その中で、ようやく 2011 年秋以降、演奏活動を再開、小単位での仮設住宅などへの慰問演奏などを行いながら、2012 年 3 月、石巻専修大体育館で、観客 1000 人の前で、フォーレ「レクイエム」などを演奏。そして、2014 年 11 月、第 40 回記念定期演奏会を開北小体育館で首都圏オーケ参加者の指導役、ヴァイオリニスト沼田園子さんを迎えての「メンデルズゾーン ヴァイオリン協奏曲」やブラームス交響曲第 4 番を演奏。

### 団長：足立岳志

石巻専修大機械科教授。元々はコントラバスで入団するも、人数不足から、数年前よりヴァイオリンに転向。

### コンサート・マスター 長谷川康

静岡県沼津市生まれ。4 歳よりバイオリンを始める。国立音楽大学附属音楽高等学校・同大学卒業、守岡輝氏・大関博明氏に師事。92 年、仙台フィルハーモニー管弦楽団入団。98 年、バイオリンリサイタルを行う。仙台フィル以外での演奏活動も多く、01 年より毎年、ロカール室内オーケストラ(スイス)に参加。今年も 5 月 29・30 日にスイス国内での演奏会に参加する予定である。02 年 10 月『みちのくプロレス』のリング上で演奏を行うなどユニークな演奏活動を行った。また、毎週水曜夕方 6 時半から放送されている仙台ラジオ 3 (FM76.2) の番組『BUONA MUSICA!』のパーソナリティーもつとめている。

**参加団員・団友**—オーボエ：佐藤万里子 フルート：木村裕 クラリネット：庄子哲 阿久津勝信 ファゴット：小路左季 ホルン：黒澤和行 土屋稔 亀梨和雄 トランペット：佐藤俊也 佐々木俊信 菅野茂之 第 1 ヴァイオリン：長谷川康 石川満 斎藤充 高瀬能夫 鈴木房子 森優真 第 2 ヴァイオリン：木村美菜 足立弘子 ヴィオラ：足立岳志 對馬和彦 久保将哉 チェロ：鈴木誠 コントラバス：花渕英二

## 石巻市民交響楽団と 3 曲

### 団長 足立岳志

石巻市民交響楽団は、「大いなる故郷石巻」の作者者でもある当初初代事務局長故石島恒夫氏がこの作品を是非とも市民のオーケストラで演奏したいとの熱い思いから、昭和 53 年に創立されました。氏は首都圏での当団の演奏を考えていました。今回のご招待により、故石島氏の希望が叶えられることにもなりました。和光市の皆様、関係者の方々に心より御礼申し上げます。震災後、石巻は多くの方々にご支援頂きました。本日の演奏会で復興に向けて頑張っている姿と感謝の気持ちを伝えられればと思います。

### ベートーヴェン「第九」

東日本大震災の直前、2 月 27 日に石巻市合併 5 周年記念事業「第 9 で手をつなごう」公演で合唱団と渡邊公威先生、佐々木克仁先生とともに、ホームグラウンドである石巻市民会館で演奏。市民会館での最後の演奏会となった。公演出来たのはよかったが、震災で石巻は大きく様変わりしてしまった。

### フォーレ「レクイエム」

2012 年 3 月に犠牲者追悼演奏会で市民の合唱団、西森由美先生、佐々木克仁先生とともに石巻専修大学体育館で演奏。震災後にも関わらず、多くの市民の方々が参加。首都圏からもオーケ、合唱にボランティアとして参加いただいた。指揮者、演奏者の犠牲者への思いがこもった、特別な演奏会になった。2014 年 3 月に渡邊かれん先生、合唱団とともに再演。

### カンタータ大いなる故郷石巻

石巻市民交響楽団誕生の原動力となったとともに、石巻で 10 年毎に演奏している合唱団、オーケにとって思い入れのある作品。平成 25 年 6 月に東日本大震災復興祈念事業として、故郷石巻への思いを再確認し、震災から復興に向かって立ち上がる市民の励ましになることを願って再演。

### ふるさとの四季

石巻市民交響楽団が今年 5 月、大阪からのアマ・プロの有志の混成オーケストラ、合唱団と石巻市内で演奏会でこの曲を演奏予定。また、指揮者、佐々木克仁先生が、ご出身の石巻市大川地区で、現在、地域の合唱指導を行っており、その際に歌っている曲、でもある。

## 首都圏オーケストラ練習指導



ヴァイオリニスト  
沼田園子

東京芸術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業。同大学院博士課程単位習得。パガニーニ生誕200年祭国際ヴァイオリンコンクール第3位、マリア・カナルス国際ヴァイオリンコンクール、ヴァイオリン、ピアノ二重奏部門において第2位など入賞。日本音楽コンクール作曲部門演奏コンクール審査委員会特別賞、中島健蔵賞、静岡県文化奨励賞を受賞。1990年より水戸室内管弦楽団のメンバーとして活躍。これまでに、ソリストとして水戸室内管弦楽団や国内主要オーケストラ海外のオーケストラとも共演するほか、ヨーロッパ各地の演奏会や音楽祭にそれぞれ演奏家、講師として招待される。現在、東京芸術大学、洗足学園音楽大学各講師を務める。2012年3月石巻市民交響楽団「特別演奏会」の首都圏参加者に指導、参加。石巻カトリック教会で「ソロ」ミニコンサート。2013年6月同オケ「カンタータ大いなる故郷石巻」でも都内で参加者指導。2014年11月、石巻市民交響楽団第40回記念定期演奏会で、メンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」ソロ演奏。

### ♪3・11に想うこと…

私が初めて石巻の地を踏んだのは震災の翌年2012年の3月末、東日本大震災追悼演奏会のお手伝いに向った時の事でした。1年経っても横倒しのビルやスクラップ状態の自動車の山積みの景色は痛ましく、そんな中地元の方々と演奏したフォーレのレクイエムは、生涯忘れられない特別のコンサートとなりました。今回はリハーサルしかお手いできませんが、新たな再生への願いを託し素晴らしいコンサートになりますよう、心よりお祈りしております。この頂いたご縁を大切に、毎年音楽を通して語りかけを続けてゆきたいと思っています。



オルガン  
小倉里恵

宮崎県出身。1996、97年『ヤマハエレクトーンコンクール九州大会』で2年連続グランプリを受賞し、全日本大会出場。国立音楽大学応用演奏科卒業。2007年『ヤマハエレクトーンコンクールB部門』本選ファイナルにて入賞。ジャパンエレクトロニックオーケストラ、オペラ文化庁公演等に参加。セブンブリッジオーケストラの一員として、オペラシティや新宿パークタワーにおいてアトリウムコンサートに出演。全国自治体主催の各種記念行事で音楽を担当。演劇ユニットMONT★SUUCHI、怪奇幻想朗読家常川博行への楽曲提供をはじめ、パフォーマンスやオブジェとして舞台に参加。ダディ竹千代&ハミングバズ楽団キーボーディスト、Japanese Funk Band 寿々魁-suzuRan-リーダー、キーボーディスト。フジテレビ NONFIX『僕たち女の子』テーマ曲制作。ドキュメンタリー映画『アヒルの子』音楽担当。東京都立川市のよさこい『シャンコ立川』アレンジ参加、ネットTV『Borderless!!』出演等幅広く活動中。

### ♪3・11に想うこと…

あの日、酷い目眩のような不快な揺れの中、建設中のビルの、鉄骨の唸り声主人の故郷を飲み込む大きな黒いうねりのTV中継…  
ぞわりと痺ましい記憶が、どこか臍げなのはそれを現実と認識するのにまだ越えられない壁があるのだろう。  
もう四年、しかしまだ四年。  
私たちは、忘れていないだろうか。  
届け、レクイエム



## 首都圏スペシャルオーケストラ

本コンサート主旨に賛同し、過去にフォーレ「レクイエム」やベートーヴェン「第九」の演奏経験のある首都圏のアマチュア・プロ演奏家が手弁当で参加。和光市内の公民館やサンアゼリアで6回もの練習を重ねました。

オーボエ2名、フルート2名、クラリネット1名、ファゴット1名、ホルン4名、トランペット1名、トロンボーン5名、打楽器4名、第1ヴァイオリン9名、大2ヴァイオリン7名、ヴィオラ11名、チェロ6名、コントラバス4名

### 【協力・所属団体】

和光市民オーケストラ、新座交響楽団、所沢フィルハーモニー管弦楽団、志木フィルハーモニー管弦楽団、虎ノ門交響楽団、八重洲室内アンサンブル、鶴見交響楽団、1000人チェロ、俊友会管弦楽団、インタナショナルジョイントコンサートオーケストラ、ウィーン第9オケ、尾原記念オーケストラ、尚美学園有志、長崎海星学園音楽部OB・OGなど57名





## 石巻市民有志合唱団 石巻市文化協会会長 石巻合唱連盟理事長 西條 充敏

石巻市文化協会、石巻合唱連盟、石巻市民交響楽団が主催する「和光3・11」実行委員会(仮称)の呼びかけで応募した合唱団。石巻市および周辺の合唱団で、これまでに石巻市民交響楽団とともに、2011年2月ベートーヴェン「第九」、2012年3月フォーレ「レクイエム」、2013年6月「カンタータ大いなる故郷石巻」、2014年3月フォーレ「レクイエム」などで合唱経験のある皆さん。3・11で、それまで一緒に歌っていた合唱団仲間や、家族、親戚、友人を亡くした方々も少なからず含まれています。本番前の13日(金)夜のサンアゼリア舞台での首都圏合唱団とオーケストラの音あわせから参加。

【合唱指導】山田 正明 新田 昭夫 後藤 一恵

【参加合唱団】石巻市民合唱団 水明ハーモニー 石巻メンネルコール コール・カトレア  
かなん合唱団JOY 石巻専修大学合唱部 市民有志 合計 37名



### 首都圏合唱練習指導



佐藤 圭

日本大学大学院芸術学研究科声楽コースに在学中。「和光市民合唱団」合唱指導、古澤泉氏に師事、同合唱団サブ指導役。2013年12月ベートーヴェン交響曲第九番ソロ、2014年3月プッチーニ「ラ・ボエーム」ロドルフォ役、4月モーツァルト「魔笛」タミーノ役、5月読売新人演奏会ソロ。

2013年6月石巻市民交響楽団「カンタータ大いなる故郷石巻」全曲の首都圏からの合唱参加者へ和光市内で指導、本番にも参加。この経験が、今回の首都圏の参加者のほとんど誰も知らないこの曲の指導に生かされた。

#### ♪3・11に想うこと…

震災直後、やっと繋がった電話での叔母の一言「地獄絵図だ…」。忘れられません。

親族の大半が相馬に住んでいる私は、3月11日は忘れられない一日でした。

親族からも沢山話を聞き、忘れてたくても忘れられない方も大勢いるのだと感じました。

合唱練習では、避難されている方、地元に残っている方、全ての人々へ心の復興を祈願しながら、首都圏の皆様の指導してまいりました。



### 首都圏スペシャル合唱団

本コンサート主旨に賛同し、過去にフォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン第九、「ふるさとの四季」合唱経験のある首都圏各地の合唱団や個人が271名無償参加。加えて、慶應志木高ワグネルや和光市内の小中学生童も参加。約350名ほぼ初めての「カンタータ大いなる故郷石巻」へ1月末から7回の和光市での練習で挑戦。石巻の方々を歓迎し、また一体となつての演奏です。

#### 【協力団体】

和光市民合唱団、ブルク・バッハ室内合唱団・フィルハーモニーコア新座、慶應義塾志木高等学校ワグネルソサイエティ男声合唱団・志木第九の会、所沢で第九を歌う会、多摩第九の会、羽ばたく会、コール N(長崎県立「長崎北高」+「長崎南高」在京0B・0G合唱団)コール・マルシュナー(福島県立「福島高」在京0B合唱団)安積フィメールコール東京(福島県立「安積女子高」「安積黎明高」在京0G合唱団)

#### 【個人参加】

所沢混声合唱団、さいたま市民合唱団・合唱 浦和の会、シュロス・ムッタコア、響友会合唱団、川口第九合唱団、Blanc Bouleau・ピアチェレ、東京アカデミー合唱団、巣鴨とげぬき地藏通り合唱団、合唱団ゆうか、大田混声合唱団ほか。

音楽レストラン  
*Clochette de Bois*

クロシェット ドゥ ボワ

和光郵便局の向かい側

和光市本町 11-8

TEL 048-450-1158



## ■ソリスト■



ソプラノ (レクイエム)  
渡邊かれん

宮城県石巻市出身。国立音楽大学声楽学科卒業。二期会オペラ研修所第50期マスタークラス修了。声楽を田口興輔、菅英三子、佐藤順子の各氏に師事。オペラでは「コジ・ファン・トゥッテ」デスピーナ、「ドン・ジョヴァンニ」ツェルリーナ、「愛の妙薬」アディーナ、「椿姫」ヴィオレッタ役等に出演。また、これまでにサロンコンサート、フレッシュコンサート等多数出演。昨年3月、石巻交響楽団主催による東日本大震災犠牲者追悼特別演奏会に於いて、フォーレ「レクイエム」のソリストを務める。音楽教室かれん主宰。二期会会員。

### ♪3・11に想うこと…

震災後、初めて石巻に戻った時、故郷のあまりの変わりように、大変心が痛みました。犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りし、復興が早められますように願っています。



ソプラノ (第九)  
西森由美



東京芸術大学卒業。二期会オペラスタジオ28期及び文化庁オペラ研修所5期終了。パミーナ、ミカエラ、ロザリンデ、伯爵夫人、ドンナ・アンナ等 多彩な役柄を演じ絶賛を博す。他方コンサートでは、第九、メサイア、天地創造、レクイエム(モーツァルト、フォーレ、ブラームス他)等、数多くのミサ曲、オラトリオをレパートリーに持つ。唱歌の伝承にも積極的にとり組み、その美しい日本語と感性には定評がある。

2012年3月 石巻市民交響楽団第38回定期演奏会にて フォーレのレクイエムのソリストをつとめる。二期会会員。

### ♪3・11に想うこと…

2012年3月25日、石巻は雪でした。3月も終わろうとしているのに寒い寒い雪でした。縁あってフォーレのレクイエムをご一緒させて頂き 最後に皆さんと“ふるさと”を歌った時 冷え切った体育館の中に熱い熱い想いが溢れ出すのを感じました。

あの日の想いを私は忘れません…。



アルト (第九)  
小島りち子

宮城県南三陸町出身。国立音楽大学卒業。同大学院リート科(フランス歌曲専攻)修了。オペラでは「カルメン」カルメン、「フィガロの結婚」ケルビーノ、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、ミュージカルでは「サウンドオブミュージック」エルザ・院長先生、「オリバー」ナンシー等に出演。フォーレの会に所属しフランス歌曲コンサートを毎年行っている。その他、第九、メサイア、ミサ・ブレヴィス等のソリストとして。クラシックからポピュラーまで幅広いレパートリーをこなし、その美しく声量ある声と抜群の歌唱力で絶賛されている。

### ♪3・11に想うこと…

あの日、ふるさとの海は恐ろしい竜となって、尊い命を、生活を飲み尽くした。今、ふるさとの海は、再び命の恵みを作り始めている。今年も春がやってくる。心踊るように、静かに、そして希望の光を求めて、それぞれの春を迎える。



テノール (第九)  
渡邊公威

宮城県石巻市出身。国立音楽大学大学院修了。文化庁新進芸術家海外留学制度にてローマに留学。E. カルソー国際声楽コンクール3位、Vissid' arte 国際声楽コンクール2位、オルヴィエート国際声楽コンクール2位。《ドン・ジョヴァンニ》オッターヴィオ、《魔笛》タミーノ、《ルチア》エドガルド、《ラ・ボエーム》ロドルフォ、《カプリッチョ》テノール歌手等、数々のプロダクションでオペラに出演。昨年8月にはイタリア・オルヴィエートのマンチネッリ歌劇場にて《愛の妙薬》ネモリーノで出演しイタリアデビュー。二期会会員。

### ♪3・11に想うこと…

震災後に何度か第九の舞台に立たせて頂きましたが、その度に、震災直前の故郷石巻での第九を思い出します。あれから四年が経ち、今こうして東京と石巻を1つの音楽で結びつける瞬間に立ち会えることは、特別な思いが胸を駆けめぐります。今日の演奏がこれからの復興への1つの礎となることを願い、心を込めて歌わせて頂きます。



バリトン (レクイエム)  
(第九)  
瀬川 武

岩手県出身。国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。元国立音楽大学教授 1976年に第1回リサイタルを開催。二期会公演 オペラ「フィガロの結婚」「魔笛」「ボエーム」「カルメン」、東京室内歌劇場公演、「賢い女」「プルスキーノ君」「アルジェのイタリア女」、創作オペラ協会公演「虎月伝」等に出演。1980年より25年間に渡り 福生市心身障害者の為のチャリティーコンサートを行う。1986年 マーラー作曲「少年の不思議な角笛」ジョイントリサイタルを行う。1999年 第5回リサイタルを行う。現在 二期会会員。

### ♪3・11に想うこと…

3・11を忘れないコンサートに出演させて頂くことになり、被災した県の出身者として何か出来ることはないかと常々思っておりましたので、大変うれしく感謝いたします。私達は、3・11を忘れてはいけないのです。



## Program Note



### ◇ フォーレ / レクイエム ニ短調 作品 48

ガブリエル・フォーレ(1845-1924)は、フランス南部のアリエージュ県、パミエで教師だった父のもとに五男一女の末っ子として生まれた。彼は小さいころから教会のオルガンに触れるうち天性の学才を見出され、9歳のときパリのニーデルマイエール古典宗教音楽学校に入学した。教師で校長だったルイ・ニーデルマイエールの死後は、サン＝サーンスが教師としてやってきて、ピアノと作曲を指導した。

このレクイエムは、父親の死(1885年)がきっかけと言われている。母親は87年12月に死去するが、同年の秋に作曲に着手している。

彼の管弦楽や声楽を含んだ大規模作品として、歌劇『ペネロープ』、『プロメテ』、『マスクとベルガマスク』、『ペレアスとメリザンド』などがあるが、この『レクイエム』が代表作の一つと言える。

しばしば、モーツァルト、ヴェルディの作品とともに「三大レクイエム」の一つに数えられる。

#### 第1曲 入祭唱とキリエ (Introitus et Kyrie)

死者の永遠の安息を祈り、主とキリストに憐みを求める。オーケストラのユニゾンによる重々しい主音で始まる。分散和音線を基調としたテノール、変ロ長調に転じた甘美なソプラノ、フォルティッシモの合唱と続く。

#### 第2曲 奉獻唱 (Offertorium)

神に讃美の犠牲をささげ、死者を罪と地獄からまぬかれさせ給えと祈る。オ・ドミネの部分はアルトとテノールとバス(3回目から)によるカノン風。中間部はバリトン独唱による犠牲と祈り(Hostias)となる。同音反復による朗唱が特徴的。

#### 第3曲 聖なるかな (Sanctus)

全曲の中でもとりわけ美しい。弦とハープの分散和音、ヴァイオリンのオブリガートに伴われ、ソプラノとテノールが互いに歌い交わしながら感動的な部分に達する。

#### 第4曲 ああ、イエズスよ (Pie Jesu)

主イエスに、死者の安息を祈る。ソプラノ独唱。オーケストラは独唱の余韻のように寄り添う。

#### 第5曲 神の子羊 (Agnus Dei)

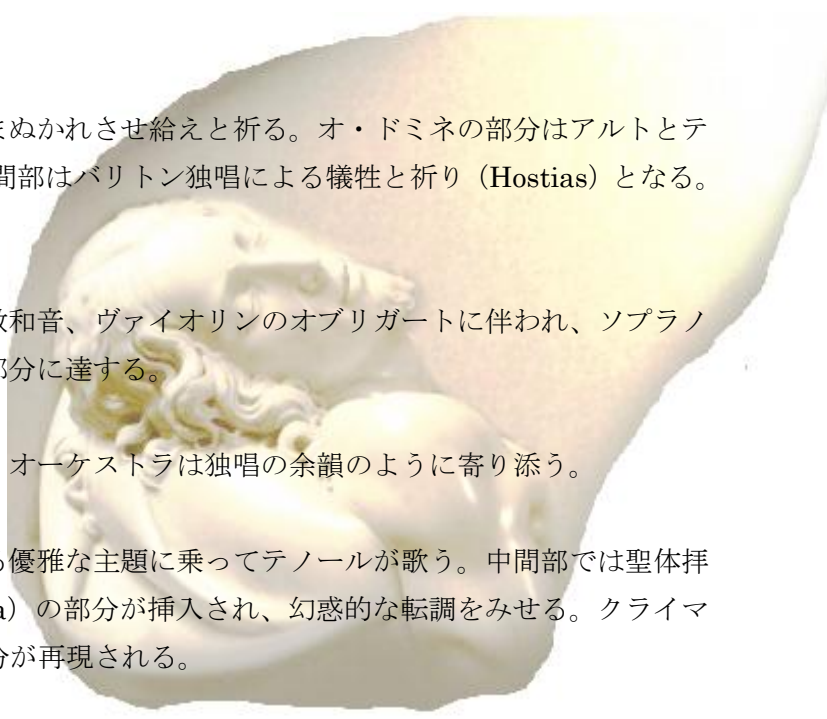
神の子羊たるキリストにささげる祈り。弦による優雅な主題に乗ってテノールが歌う。中間部では聖体拝領唱(Communio)から永遠の光(Lux aeterna)の部分が挿入され、幻想的な転調をみせる。クライマックスに達すると、第1曲「入祭唱」の冒頭部分が再現される。

#### 第6曲 われを許したまえ (Libera me)

死者の罪の許しを祈願する。この曲と第7曲「楽園にて」は、本来のミサに入っておらず、ミサ終了後の祈りの歌が採られている。

#### 第7曲 楽園にて (In paradisum)

死者の棺が運ばれる途中で歌われるもの。本来の死者ミサの一部ではなく、棺を埋葬する時に用いられる、「我を許したまえ…」という赦祷文(Responsorium)に作曲したものである。オルガンの浮遊感をたたえた音型に乗ってソプラノが歌う。



## ◇ 源田俊一郎編曲 / 合唱曲『ふるさとの四季』

編曲の源田俊一郎は国立音楽大学音楽学部教育音楽学科専攻、同大の首席卒業者に与えられる岡本賞受賞。作・編曲を寺島尚彦氏に師事。今までに慶應義塾高校非常勤講師、雙葉学園非常勤講師、明星学園小中学校非常勤講師、ヤマハ美立橋音楽教室音大受験クラス専任講師、NHK 文化センター講師、海城学園非常勤講師を歴任。現在、洗足学園音楽 大学、国立音楽大学各講師を務める。彼は、アレンジャーとして数多くの編曲をてがけている。この曲は、女声合唱のために作られたもので、日本の原風景を象徴する文部省唱歌、「故郷」を軸に季節感溢れる数々の唱歌を 11 曲織り込んだ合唱曲。この曲は、1986 年、川崎混声合唱団（ピアノ伴奏）によって初演されている。

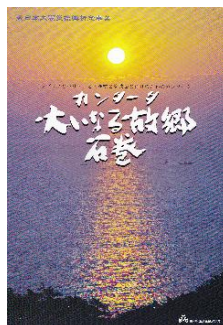
曲は、「故郷」、「春の小川」、「朧月夜」、「鯉のぼり」、「茶摘」、「夏は来ぬ」、「われは海の子」、「村祭」、「紅葉」、「冬景色」、「雪」からなり、最後にもう一度「故郷」が演奏される。今回はピアノ伴奏ではなくオーケストラ版で、合唱も混声で演奏する。



## ◇ 小杉太一郎 / カンタータ大いなる故郷石巻

小杉 太一郎（1927 年-1976 年）は、宮城県石巻市出身の作曲家。父親は俳優・映画監督の小杉勇。同じ伊福部門下の作曲家山内正は義兄(妻の兄)にあたる。当初は獣医師を志望し、東京府立第十五中学を経て麻布獣医専門学校(現 麻布大学)に進んだが、1949 年、東京音楽学校作曲科に入学。池内友次郎に対位法と和声学を、伊福部昭に作曲と管弦楽法を学んだ。この曲は、石巻市市制 40 周年を記念して 1973 年に作曲され、東京交響楽団の演奏により初演された。以後、10 年おきに演奏されている（1983 年、1993 年、2003 年、2013 年）。2013 年は東日本震災復興記念事業となった。「ソプラノとバリトンと大合唱と管弦楽と踊りのためのカンタータ」と表されるこの作品は 4 楽章からなり、支倉常長の物語や石巻の発展を願う壮大な構成になっているが、本日は 4 楽章のみ演奏する。

- 第 1 楽章 “日高見” 北上川河口に町を開いた
- 第 2 楽章 “たたら火” 鑄銭場のにぎわい
- 第 3 楽章 “雄図” 慶長遣欧団を歌う
- 第 4 楽章 “祝祭” 未来の発展と幸福を祈る



2013 年 6 月に東北震災復興祈念として行われた演奏会のプログラム

### 第 4 楽章 “祝祭 歌詞

#### 合唱（混声）

松島のサヨ 瑞巖寺程の  
寺もないとエ  
アレハエー エト ソーリャ 大漁ダエ  
前は海サヨ 後は山で  
小松原とエ  
アレハエー エト ソーリャ 大漁ダエ  
石巻サヨ その名も高い日和山トエ  
アレハエー エト ソーリャ 大漁ダエ  
西東サヨ 松島遠島 目の下にトエ  
アレハエー エト ソーリャ 大漁ダエ

#### 合唱（児童・女声）

「石巻風景」佐藤 露江 作

日和ヶ丘の桜の花  
かもめ のどかに むれ飛びて  
霞がくれの 真帆片帆  
あな おもしろき 春風景  
北上川の夕風や  
波に砕くる 月影を  
漕げば 櫓音の冴えわたり  
夏は涼しき 内海橋

港頭 秋の風立てば  
牧の嶺近き 御所の山  
紅葉の錦織なして  
映ろう水美しさ  
千古の色の 常磐木や  
羽黒揚武の へだてなく  
雪白妙の伊寺水門  
冬しずかなる 朝ぼらけ

#### 合唱（混声）

みどり濃き  
釜の入江に  
近代の 煙たちのぼる  
大量の旗なびかせる巨船  
長浜の松韻を呼ぶ  
牧山の霊神  
遥かな海と町との平和を守る  
限りなき 未来を込めて  
この素晴らしい 文化を守る  
我が市民 10 余万  
香り豊かな町  
愛すべき人の町  
大いなる 黒潮の故郷  
みんな みんな 幸せに  
大いなる 故郷 石巻  
大いなる 故郷 石巻

## ◇ ベートーヴェン / 交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱付」 第4楽章 プレスト

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770-1827)は、1770年にドイツのボンで父ヨハン、宮廷料理人の娘、母マリア・マグダレーナの長男]として生まれるた。1792年、ハイドンに才能を認められ弟子入りを許可され、11月にはウィーンに移住し(12月に父死去)、まもなく、ピアノの即興演奏の名手(ヴィルトゥオーゾ)として名声を博した。1794年、ベートーヴェンは処女作となる「ピアノ三重奏曲」を発表し少年演奏家を脱却し音楽家としての道を歩み始めた。1798年、ベートーヴェンが28歳の時に自分の耳が聞こえづらくなってきていることに気がつき、難聴に向き合うようになった彼は、次々に楽曲を量産していく。特に1804年から1814年までの十年間は「傑作の森」と呼ばれるベートーヴェンの黄金期となる。この時期には「エロイカ」「運命」「田園」などの交響曲やピアノソナタ、オペラ用楽曲などが製作・発表されています。この時代に作られた楽曲は、ベートーヴェンが生涯に製作した楽曲の半数を占めるほどの量と完成度を持っている。

この「第九」は終楽章に『シラー作「歓喜頌歌」による終末合唱付き交響曲』とあるように至高の喜びを管弦楽のみならず、4人の独唱(ソプラノ、アルト、テノール、バリトン)と4声の大合唱を加えて、人として生きる真の「歓喜」を込めている。この曲が作られたとき彼は、全く耳が聞こえず、人生のなかでどん底の時代だったが、この曲を聴くと偉大なる芸術家の苦悩を経た生きることへの歓喜が伝わってくる。

余談だが、「第九」と言えば、年末に盛んに演奏される。下手をすると全国で年末だけで150~200公演行われるのではないだろうか?外国では年末と言えば「ハレルヤ」で、「第九」を演奏することはほとんどない。日本だけの特異現象。戦後、年を越すのに窮したとあるオーケストラが、「第九」にはコーラスが付き、演奏者の親類縁者にチケットがさばけるのではとのもくろみで実施したところ大当たり。その後各オーケストラもまねをすることになり、年末の恒例行事となった。

### 2014年「和光3・11つながりカフェ」の活動



昨年3月「和光3・11を忘れない」コンサート等でのチケット販売(復興応援募金)やさくら募金の収益金を一部運営に充て、「和光3・11つながりカフェ」を実施しました。和光・新座・朝霞市、東京都豊島区、板橋区等各避難者、支援者、特別ゲストが集まり、時には東北の味を堪能しながら、時には音楽を聴きながら、故郷を思い出す会、仲間づくりの会になりました。今後も継続してカフェを開催していく予定です。



- ・3/15 「3・11震災を忘れないためにできること」(和光市民文化センター 小ホール)  
「津波の語り部」 「影絵と箏の演奏」 「子供たちの歌とダンス」  
「大震災避難者コーラス」ほか 主催:和光市社会福祉協議会
- ・6/16 第1回 交流会(於:アルコイリスカフェ)  
「マミーすいとんほかのお食事会」 「つながりカフェに要望することなどの検討及び発表会」ほか
- ・9/23 第2回 そば打体験、音楽鑑賞(於:総合福祉会館「ゆめあい」)  
「そば打ちの体験」 「お食事会」 「音楽鑑賞」 「検討会」
- ・12/3 第3回 望年会(於:アルコイリスカフェ)  
「お食事会」 「手品、コーラス等の披露」

# 東日本の早期復興を願い、みんなで高らかに歌いましょう!

## 喜びの歌

はれたるあおぞらただようくもよ  
はなさくおかべにいこえるともよ

5  
ことりはうたえりはやしにもりに  
ふくかぜさわやかみなぎるひざし

9  
こころはほがーらかよろこびみちてみ  
こころはたのーしくしあーわせあふれひ

13  
かわすわれらのーあかるきえが  
びくはわれらのーよろこびのう

響くは われらのよろこびの歌  
心は楽しく しあわせあふれ  
吹く風さわやか みなぎる日ざし  
花咲く丘べに いこえる友よ  
見交わす われらの明るき笑顔  
心はほがらか よろこびみちて  
小鳥は歌えり 林に森に  
晴れたる青空 ただよう雲よ

## さくら募金

3月12～14日の3日間、サンアゼリア会場各施設に募金箱、大ホール入り口(ホワイエまたは玄関前)に「さくらの木」(花びら貼付用)を設置。  
また、2015年1月～3月14日までの間に和光市および近隣のイベントや商店・企業などでのプレ「さくら募金」も。



### 《収益金とさくら募金の使い道》

本イベントの収益は、2014年3月の収益金とさくら募金は、全額得和光市社会福祉協議会へ寄付。和光市社協では、一部10万円は大船渡社協へ寄付、残り30万円強は、6月から開始した、和光市近隣に避難されている方々の「集い」を開催。その運営と参加者の補助に充当しています。  
今年のイベント収益とさくら募金も、この「集い」に充当させていただきます。

明治、昭和の大津波や大震災だけでなく過去にも自然災害は起き、  
先人たちは次代の人たちに二度と大被害を出さないようにと目印  
を残したりしていますが、生かされていません。

70年前には形こそ違え、長崎で被爆を受けた経験があるにもかかわらず、  
その経験が福島の大爆に生かされていないのでは・・・。

歴史が忘れ去られ、また同じことを繰り返す。

そんなことがないように

「3・11を忘れない」で次代に語り継いで行きましょう。

#### 【和光3・11を忘れない実行委員会】

委員長 樽松三郎（日本芸術文化振興会プログラムオフィサー、元和光市文化振興公社芸術アドバイザー）  
事務局長 齋藤大介（和光市民合唱団 「311有志」世話人）  
実行委員 荒木保敏（和光市ボランティアセンター長） 井上明次（地域公益推進機構副代表）  
江頭康伸（和光市民オーケストラ団長）小川澄子（和光市ボランティアセンター）  
古賀忠夫（「311有志」）谷禮子（和光市民合唱団前代表）近田とき子（和光市民合唱団）  
八木久仁（WAKO ゴスペル）

≪協賛・募金協力≫カフェ2♠10jack／鈴木園芸生花店／レストラン クロシェットドオボワ／アルコイリスカフェ／  
東横イン和光駅前／テラーミヤサカ／和光バーディゴルフクラブ・ティールームキトリ (Kitri)（以上和光市）  
音季菓子処青柳／理容高梨／長寿庵（以上朝霞市）、カフェ・ド・クリエ渋谷桜丘スクエア

（プログラム作成：Y.Egashira）

